

## 文化経済戦略（案）について

### 文化経済戦略策定の基本認識

#### 国際社会における文化

国のプレゼンスを高める要素として  
文化の意義や重要性が向上

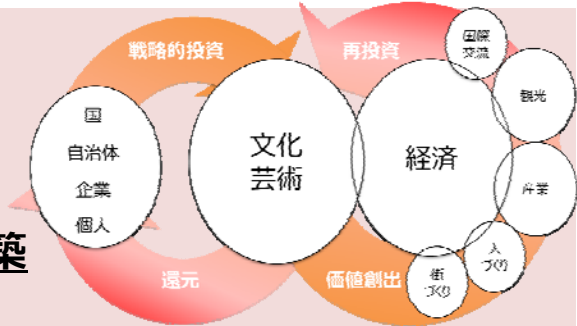
#### 我が国の文化

世界に誇るべき多様で豊かな  
文化芸術資源が存在

#### 経済における文化

産業競争力を決定づける  
“新たな価値の創出”を文化が牽引

- ▶ **国・地方自治体・企業・個人が文化への戦略的投資を拡大**
- ▶ **文化を起点に他分野と連携した創造的活動を通じて新たな価値を創出**
- ▶ **その新たな価値が文化に再投資され持続的な発展に繋がる好循環を構築**



### 文化経済戦略策定にあたっての重要な6つの視点

#### ○未来を志向した文化財の着実な継承とさらなる発展

国民共有の財産である文化財を守り、次世代へ継承していくことは、  
国として重要な戦略的投資。新たな創造的活動の大前提。

#### ○文化への投資が持続的になされる仕組みづくり

創出された価値が新たな文化創造や、文化芸術分野での人づくり、  
文化基盤等に再投資されるメカニズムが文化の発展の原動力。

#### ○文化経済活動を通じた地域の活性化

地域の文化、芸術祭、文化施設などの文化芸術資源を活かして、  
産業や観光等と連携した地域活性化を実現。

#### ○双方向の国際展開を通じた日本ブランド価値の最大化

戦略的な海外市場の開拓とともに、インバウンド拡充を推進。  
世界の文化、芸術家が日本に集う環境を創出。

#### ○文化経済活動を通じた社会包摂・多文化共生社会の実現

バリアフリーや多言語化など、あらゆる人々が参加できる多様性を  
尊重した社会基盤の整備。

#### ○2020年を契機とした次世代に誇れる文化レガシー創出

2020年以降を見据え、文化経済戦略を推進するための起爆剤  
となる質の高い文化プロジェクトを展開。